

4-1 品質優先、品質第一



第2章では「品質」、第3章では「管理」がどんなものかを学んだね。第4章では品質管理を実践する上で重要な「QC的ものの見方・考え方」について学んでいくよ。

ふーん、QC的か…

見方や考え方で品質管理ができるとは思えないけどな～
結局、製品を検査することが重要なんじゃないの？



検査はもちろん大切だけど、第2章で学んだように品質は従業員全員で作りに上げていくものなんだ。だからひとりひとりの見方や考え方を揃えることはとても重要なんだよ。

へ～、そうなんだ。

まあ確かに見方や考え方が揃っていれば仕事も効率的かも。
じゃあ具体的にはどんな項目があるの？



全部で15個の項目があるんだけど、まずは品質優先、品質第一の考え方から学んでいこう。

企業は利益をあげなければ存続できません。そのために目先の利益を追求してしまいがちです。「品質優先・品質第一」とは、利益ではなく品質を第一と考え、「品質を確保した上でコスト低減を行う」という考え方のことです。

しかしながら、現実はかんたんではありません。他社との価格競争、市場ニーズへの対応、短納期化などに対応しながら、なお品質を最優先するように徹底するには相当の覚悟が必要です。ですから従業員全員の品質意欲を高める

ためには、まず経営トップが先頭に立ち、品質の重要性を認識して熱意と信念を持って品質第一をやり抜く覚悟が必要となります。

また、従業員側も「判断に迷ったときは品質を最優先する」という心構えで仕事をすることが、結果的に会社を長く存続させ、安定した収入につながるということを理解しておく必要があります。

4-2 全部門、全員参加

「迷ったときは品質優先」か…

理由は分かるけど、正直、自分だけが違う意見を主張するのは勇気があるよな～



そうだよね。会社という組織の中で1人だけが品質優先で動いても意味はないんだ。だから「全部門、全員参加」という考え方が重要なんだよ。詳しく説明するね。

「全部門、全員参加」とは、職種（企画、開発、設計、生産技術、製造、人事、総務、営業など）や部署、立場（トップ、管理者、一般社員など）に関わらず全員参加で積極的に顧客・社会のニーズを満たす製品・サービスを提供する行動原則のことです。

組織には、さまざまな能力を持った人がいますよね。組織全体の目標に向かってひとりひとりがその能力を発揮し、与えられた役割を果たしていくことが重要です。

「全部門、全員参加」の実現に向けて特に必要になるのは、以下四つの取組みです。

1. 全員が納得できる組織目標の設定
2. ひとりひとりの役割と組織目標とのつながりを見える化
3. 組織（部門）の壁なく議論できる雰囲気作り
4. 必要な知識が習得できる教育の提供